

島根大学医学部医学科

学士入学（3年次編入学）Q&A

Q1 私は文系学部出身ですが、学士入学（3年次編入学）への出願に際して何か制限があるのでしょうか。また、授業についていけるのでしょうか。

A 特に出身学部・学科による制限や大学での履修科目・修得単位数による制限を設けていません。

ただし、入学生には、入学直後から始まる専門教育科目を履修するうえで、自然科学系科目の知識や科学的な思考能力が要求されます。このため、本学医学部では第1次選抜試験において外国語（英語）の他に自然科学総合問題（物理学、化学、生物学などの自然科学系の科目）の学力試験も実施することにしてあります。従って、これらの科目に関して、一定以上の学力が必要です。

さらに、入学後も上記のような学習レベルを保ち、医学以外の専門知識を医学に生かすためには、強い意志と努力が必要であると考えられます。

Q2 学士入学（3年次編入学）の過去の志願者数及び入学者数の内訳を教えてください。

A 過去5年間の学士入学（3年次編入学）の志願者数及び入学者数の内訳は次のとおりです。

区 分	志願者数	入学者	内 訳			
			性 別		出身学部	
			男	女	文系	理系
平成 25 年度	269	10	8	2	1	9
平成 24 年度	274	10	5	5	2	8
平成 23 年度	244	10	7	3	0	10
平成 22 年度	238	10	6	4	2	8
平成 21 年度	230	10	5	5	1	9

Q3 私は外国の大学を卒業しましたが、受験上の特別の措置があるのでしょうか。

A 選抜試験において、外国の大学の出身であることによる受験上の特別の措置はありません。

なお、入学後においては、高度な内容を含む専門教育科目等を履修するうえで、十分な日本語能力が必要です。

Q4 私は現在35歳の会社員です。大学卒業後13年が経過していますが、出願資格はあるのでしょうか。また、年齢による合否判定上の不利益は無いのでしょうか。

A 出願資格に年齢制限は設けておりません。年齢に伴う知力・体力や医師としての成長度には個人差があり一律に年齢制限を設けることは適当ではありません。

しかし、医学部卒業者が、医学教育、研究及び診療の各分野で一人前の医師として活躍するためには、医師国家試験に合格した後、2年間の卒後臨床研修はもとより、相当の研修期間が必要であると考えられ、一人前の医師となった後は、社会へより長い期間貢献できることが望ましいことは言うまでもありません。

Q 5 募集人員の地域枠について教えてください。

A 島根県にはへき地に該当する地域が多く、へき地における医師不足が深刻化しています。地域貢献を大学の理念とし、地域医療に重点を置く医学部は、医師派遣によるへき地医療支援だけでなく、故郷に根付いてへき地医療を担う医師を養成することを使命としています。

この地域枠は、島根県内出身者で、医師として活躍するに十分な素質と明確な目的意識を持ち、島根県のへき地医療に貢献したいという強い使命感を持った意欲ある学生を発掘し、選抜することを目的としています。

なお、募集人員10人のうち、地域枠として3人以内の島根県出身者を募集しますが、合格基準を満たす県内出身者が3人に達しない場合は、その分は県外出身者の合格者を増員し、合格基準を満たす県内出身者が4人以上となった場合は、4人目以降は県外出身者と同じ枠で可否を判定します。

Q 6 経済的な支援制度について教えてください。

A 本学には、山陰合同銀行と提携した「島根大学授業料奨学融資制度」があります。これは、授業料の融資を受けた学生に代わって、本人が支払うべき利息を在学中に限り、大学が支払う制度です。卒業後、元金、利息を返還することになります。

このほかにも、授業料免除制度や日本学生支援機構、地方公共団体、その他の事業団体による育英制度があります。

Q 7 過去の試験問題について教えてください。

A 本学では、過去3年間分の入試問題をホームページに掲載しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

なお、著作権の関係で閲覧できない場合がありますが、その場合、医学部学務課にて閲覧することができます。

Q 8 試験問題のコピーの送付等はできますか。

A 本学では、試験問題のコピーの送付等は行っておりません。